

本調子

上		
老		
四		
工		△
合	ウ	○
老	タ	
四		ト
工		ウ
四		
老		サ
四		ン
合		シ

上	ン
尺	
工	
合	ヤ
工	
尺	
工	フイトウ
五	ヌ
七	チ
合	
七	ム
五	

工	イ
五	
尺	サ
五	
工	ミ
合	
五	
尺	
工	
合	
工	
五	

工	ケ
尺	ヌ
王	
上	フイ
老	
尺	トウ
工	
四	ビ
工	
乙	トウ
尺	
合	ヌ
上	

工	
尺	
合	
上	
合	タミ
老	ニ
四	
尺	チ
工	
上	ク
老	
四	チ
工	

合	
尺	タ
工	ミ
六	ニ
七	チ
六	
五	ク
尺	
工	チ
合	
五	ス
尺	ラ

工	ヨウ
合	
工	
尺	
工	
合	タミ
上	
合	ニ
老	
四	
尺	チ
工	
上	ク
老	

四	千
工	
合	
尺	
工	
合	
六	
尺	
工	
合	
六	
尺	

合	
工	
上	
老	
四	
工	

歌の泉（ウタぬイジユン）

本調子

2/2

一、歌と三絃や 人ぬ肝いさみ

世間ぬ人々ぬ 為に尽ち

～為に尽ち スラヨ―為にちくち

二、人ぬ肝心 勇持てなする

歌と三絃 情知らな

～為に尽ち スラヨ―為にちくち

三、だんず我が島や 昔から今に

歌と三絃 泉んさらみ

～為に尽ち スラヨ―為にちくち

四、我が島ぬ文化 守て何時までん

年寄若者ん 心合わち

～為に尽ち スラヨ―為にちくち